

写真アルバムを感動的に仕上げる方法(Photo Story 3)

マイクロソフトから無料で配布されている「メディアプレーヤー10」と「フォトストーリー3」と呼ばれるソフトウェアを利用して 複数の写真を組み合わせて 感動的なムービーに仕上げる方法を説明します。これを使うと簡単に 写真アルバムを10倍楽しくできます。エキサイティングです。なぜって、是非やってみてください。眠っている写真も再活用、再び感動を与える写真となりますよ。

両ソフトウェアともオペレーティングシステム(OS)が Windows XP で稼働しているコンピュータが要件となっていますので Windows Me などの旧 OS では 残念ながらご利用になれません。

「フォトストーリー3」が 作成・編集用ソフトウェアですが、再生用ソフトウェア「メディアプレーヤー10」特有の技術を利用しているため、両ソフトウェアが必要となっています。

1. 「メディアプレーヤー10」のインストール

(1)インターネットから 下記ページを表示します。

<http://www.microsoft.com/japan/windows/windowsmedia/mp10/default.aspx>



(2) 「今すぐダウンロード」をクリックします。



(3) 「Download Now」のボタンをクリックします。



- (4) 「実行」ボタンをクリックすると ダウンロードとインストールが始まります。
「保存」ボタンは、通信回線が遅い場合やインストールの失敗の際に再試行をしやすくしたり、インストール用のファイルを保存しておきたい場合などに使います。
- (5) メッセージの指示に従って 操作を進めると インストールが完了します。

2. 「フォトストーリー 3」のインストール

- (1) インターネットから このページを表示します。

<http://www.microsoft.com/downloads/details.aspx?FamilyID=92755126-a008-49b3-b3f4-6f33852af9c1&displaylang=ja>



- (2) 「ダウンロード」ボタンをクリックします。
- (3) 「実行」ボタンをクリックします。

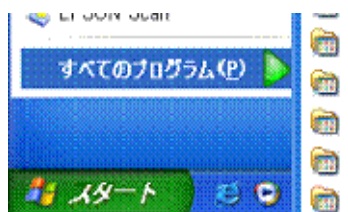


- (4) メッセージの指示に従って 操作を進めると インストールが完了します。

3. 作品を作る

(1) 「フォトストーリー 3」を起動する

インストールしたソフトウェアは すべて スタートメニューから選択して起動できます。



「フォトストーリー 3」を一覧から探して クリックします。

「フォトストーリー 3」の起動時の画面です。



(2) 「新しいストーリーを作成する」を選択して 「次へ」 ボタンをクリックします。

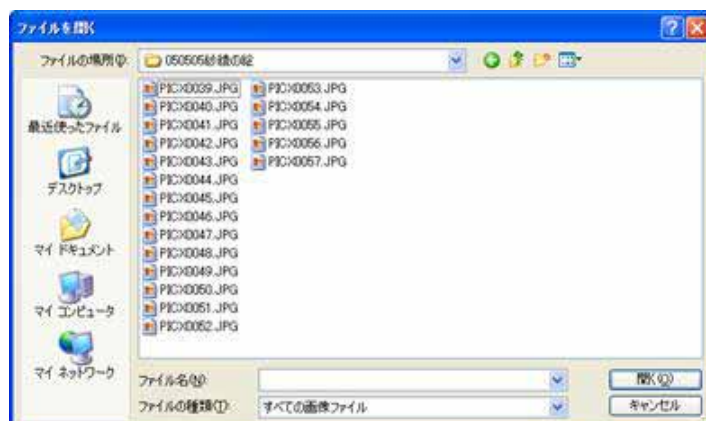
すでに作成したプロジェクトファイルを再編集する場合は「プロジェクトを編集する」を選択します。

プロジェクトファイルとは 再編集用に必要なデータをすべて抱え持つファイルです。



(3) 「画像のインポート」ボタンをクリックします。

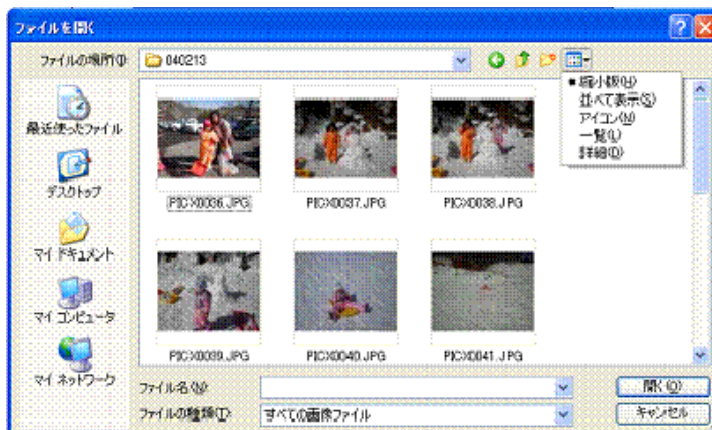
(4) ファイル選択のダイアログボックスでファイルを選択します。



一つでも複数でも 選択できます。

複数選択するときは シフトキーまたは コントロールキーを併用します。(シフトキーは範囲指定、コントロールキーは 飛び地のファイルを指定)

下記のようにボックスの右上方で縮小版を選択すると画像の縮小版が表示されますので絵を参考にしながら選択することもできます。



ファイルを選択して「開く」ボタンをクリックすると元の画面に戻ります。



(5) 写真下のボタン操作で写真を回転させたり、効果を施したりできます。

写真したの「編集」ボタンをクリックすると下図のように「回転とトリミング」「自動補正」「エフェクトの追加」を編集することができます。

ここで だいたいの写真加工が可能です。

写真加工を施したら 「保存」ボタンをクリックします。そして「閉じる」ボタンをクリックすると元の画

面に戻ります。次の写真を選択して同様に写真加工を繰り返します。



(6) 「次へ」ボタンをクリックすると下記画面に変わり、写真ごとにタイトル文字を入れることができます。

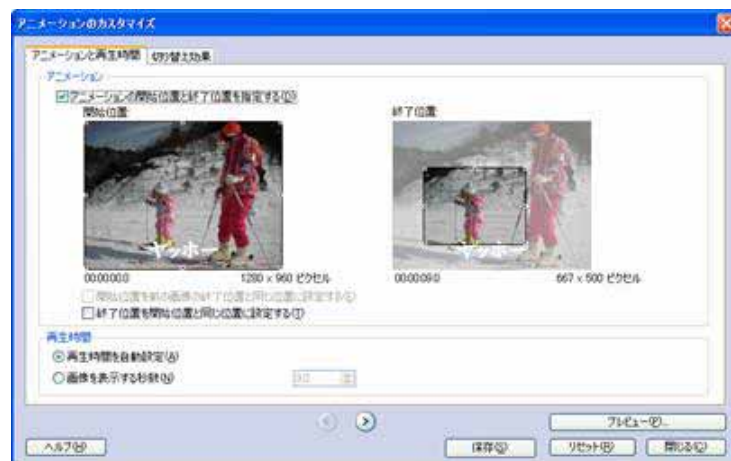


文字入力を行い、文字入力枠の上のボタンで文字表示位置を決定します。文字サイズ・フォント・色などを変更するボタンもあります。

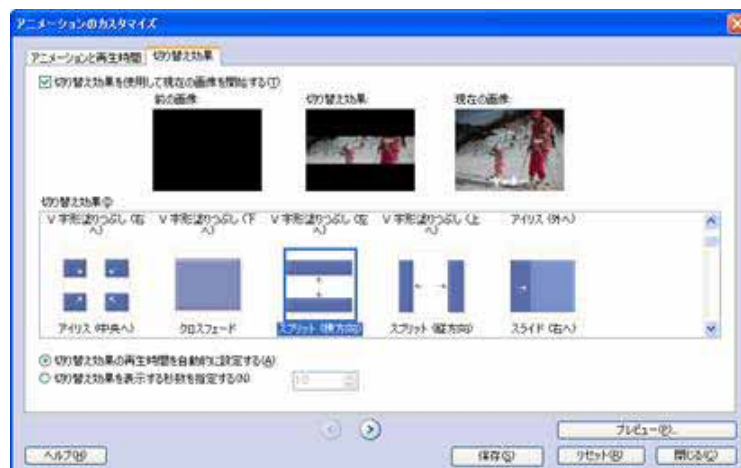
(7) 「次へ」ボタンをクリックすると下記画面に変わり、写真ごとにナレーションを入れることができます。



写真下の「アニメーションのカスタマイズ」をクリックすると下図のようなウィンドウが表示されます。下図の「アニメーションと再生時間」タブでは写真の一部にアプローチしたり、遠ざかったりする効果を設定することができます。前後の写真と組み合わせると効果的な使い方を考えましょう。



また、ここでは写真を表示する時間を設定することができます。アニメーションはその時間の長さに自動調整されます。ナレーションを録音するとナレーションの時間の長さに自動調整されます。「切り替え効果」タブでは前の写真から現在選択している写真への切り替え効果を選択できます。切り替えにかかる時間も設定できます。



設定が終わったら「保存」ボタンをクリックします。「閉じる」ボタンをクリックすると元の画面に戻ります。次の写真を選択して同様に「アニメーションのカスタマイズ」を行います。



(8)元の画面に戻って「次へ」ボタンをクリックすると BGM(バックグラウンドミュージック)を付加する画面に変わります。

ミュージックは写真ごとに設定できます。

ミュージックを設定したい写真を選択してから、「音楽の選択」または「音楽の作成」ボタンをクリックします。



「音楽の選択」は 音楽CDや自作したミュージックファイルをハードディスク内から選択することができます。

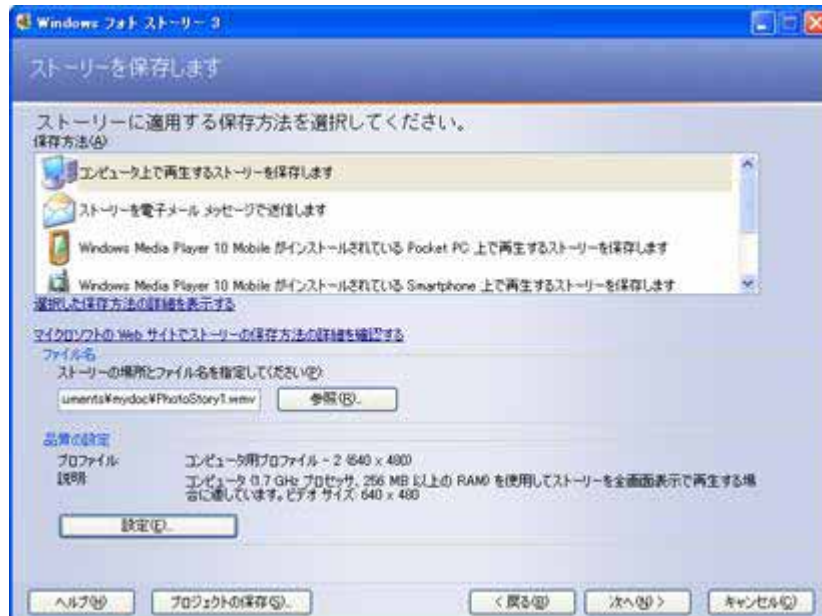
「音楽の作成」は「フォトストーリー3」が内部生成します。この際に 多彩な選択肢が準備されていますので 写真にあった音楽を作成することができます。

下図は複数の音楽を設定した状態の例です。



(9) 「次へ」ボタンをクリックすると もう 最終処理です。

ムービーファイルの書き出しをどこへどんな名称で行うのかを指定します。



もう一つ 重要な設定があります。

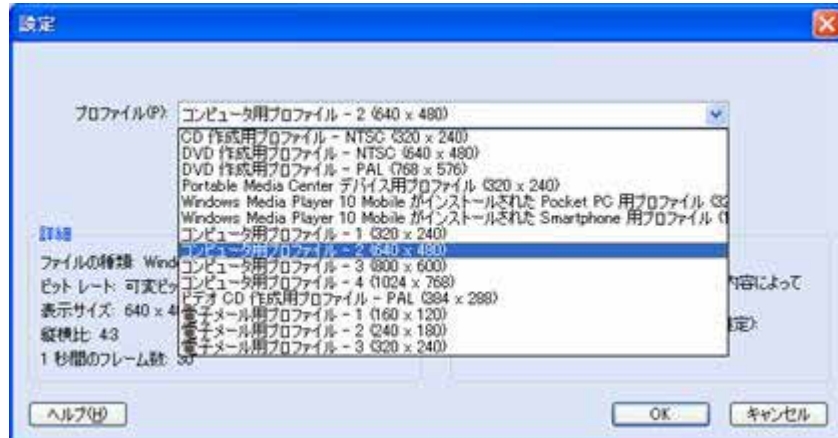
「設定」ボタンをクリックすると 下図のようなウィンドウが表示されます。

ムービーの表示サイズなどの品質を決定するもので 生成されるムービーファイルのファイル容量も大きく変わります。

ファイル容量があまり大きすぎるようだと、ここで「コンピュータ用プロファイル-1 (320×240)」のような小さい表示サイズを選択します。

せっかくのきれいな写真ですから 写真を厳選するなどして、できれば「コンピュータ用プロファイル-2 (640×480)」くらいで 見ることのできる作品にしましょう。このサイズは たいていのコンピュータで問題なく見ることができます。

展示用途などで 大きいディスプレイを使う場合は そのディスプレイに合う大きい表示サイズを選択してトライしましょう。もちろん 元の写真ファイルのピクセル数はそれ以上のものを準備する必要があります。アニメーションでズームする場合は それも考慮しなければなりません。



「OK」ボタンまたは「キャンセル」ボタンをクリックして元の画面に戻れば設定はすべて終了です。



- (10) 上の図で「次へ」ボタンをクリックします。
するとムービーファイルの作成処理が始まります。



ムービーファイルの作成とディスクへの書き出しが終わると下図のように画面が変わります。

- (11) 「ストーリーの表示」をクリックします。



メディアプレーヤー10が起動して 今作成したムービーが再生されます。

ここで 訂正が必要な場合は「戻る」ボタンをどんどんとクリックして 目的の編集画面まで戻って再編集します。そして、「次へ」ボタンをどんどんとクリックして (10)の手順で再度、ムービーファイルの作成と書き出しを行い、(11)の手順で再生して確認をします。完成するまで これを繰り返します。

(12)「プロジェクトの保存」ボタンをクリックして、再編集用のファイルを保存します。

(10)で作成したムービーファイルは その性質上、編集することはできません。

「フォトストーリー3」を終了後に 再び「フォトストーリー3」を起動して 作成したムービーを再編集するには「プロジェクトの保存」を行っておく必要があります。

プロジェクトファイルは ムービーファイルと同じ名称をつけて 保存するなどの工夫をして プロジェクトファイルとムービーファイルの対応がわかるようにしておきましょう。

(13)プロジェクトファイルの保存が終わったら、「終了」ボタンをクリックして、「フォトストーリー3」を終了します。